

【工夫のポイント】

- 高齢化等が進み、遊休農地も増加する中で、「急峻な地形や不整形かつ狭小な農地のままでは、この産地は続かない」という地域の思いから、**基盤整備**に取り組み、**担い手への農地集積・集約化を推進**。
- ほ場勾配の緩和に伴い発生する長大な法面を**リモコン式草刈機**により管理することで**維持管理作業を省力化**。

【取組地域の概要】

○位置 ふえふきし
山梨県笛吹市

山梨県



うめざわ・ひなたやま
梅沢・日向山地区

- 主要作物
・もも、ぶどう等
- 主な支援施策
・国営笛吹川農業水利事業(S46～S63)
・県営かんがい排水事業(S48～H13)
・水利施設等保全高度化事業 (R1～R8予定)

農地の大区画化と営農作業の効率化

【整備後】

- 区画の拡大により農業機械の導入が可能となり**生産コストが低減し、生産性が向上**。
- ほ場勾配の緩和により高所作業車が安全に作業できる**勾配(縦断方向8%)**に改良。



基盤整備

基盤整備

(R2年～R3年)
整備面積1.2ha

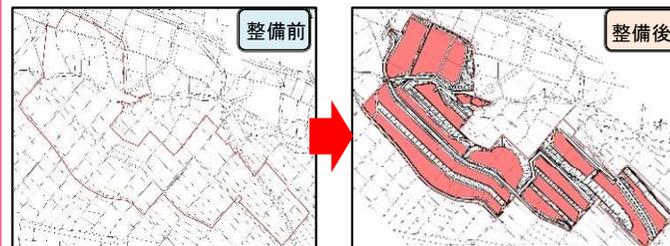
【整備前】

ほ場は**狭小で勾配も急峻(地形勾配15%～25%)**なため、**機械による農作業が困難な状況**であり、**耕作放棄地も点在**。



担い手への農地集積

- 農地中間管理機構を通じて、**地域の担い手へ農地を集積・集約化**(8割の農地を集積予定)。



担い手

日向山工区整備比較(760a当たり)	整備前	整備後
区画数	236区画	16区画
平均区画面積	3.2a	47.5a

法面の維持管理の省力化

- 勾配が緩和された長大な法面を**リモコン式草刈機**により管理することで、**除草作業の軽減及び作業の安全性が向上**。



地域の取組

基盤整備を契機に作業の合理化・省力化が可能

- ももの生産量日本一を誇る山梨県の中でも、特に高品質で消費者からの評価も高い「**春日居の桃**」の産地において、**機械作業等による農作業の合理化が可能となり、作業労力を軽減**。

作業	草刈り	農薬散布	肥料・運搬(収穫)	剪定等(収穫)
整備前	 エンジン草刈り機	 動力噴霧器	 人カ・モノレール	 脚立
整備後	 乗用草刈り機	 スピードスプレーヤー	 軽トラック	 高所作業台車

- 特に**法面の草刈作業労力が大幅に軽減**され、**作業の省力化が実現**。

